

出西地区では「健康・スポーツ」「文化芸術」をはじめとして子どもから高齢者まで趣味や生きがいが、健康づくりのためにグループや各種団体により多様な活動が行われています。

- 承認を受けるための4つの要件○
- 地域と密接に連携
  - 地域活動に協力
  - 定期的な活動
  - 地域住民に広くメンバーを募集

今回は、令和7年8月に団体登録をされた「あぐりバンド」(代表:林淑恵さん)を紹介いたします。  
あぐりバンドは、令和2年秋に音楽好きな仲間で作成されました。活動人数は、8人です。コロナ禍だったころから、音楽の力で元気を届ける活動を継続されています。コミセンでの定期的な練習会の他、高齢者施設や地域イベントへの出演をしていらっしゃいます。



あぐりバンドの皆さん♪



ペンネーム: 卑弥呼(ひみこ)

★出西に広がる笑顔の輪!★



この日は、出西コミュニティセンターを会場に開催されました(4月19日)

「いらっやいませ〜」3年目を迎えた「こどもまんなか食堂」は、かわいい笑顔の受付係に迎えられ、温かい雰囲気の中で始まりました。  
「親子が安心して過ごし、気軽に話ができる居場所づくり」を目標に、これまで毎月第3日曜日(あい川保育園を会場として開催されてきました。毎回40名前後の利用があり、子どもをまんなかに家族の楽しい居場所になりつつあります。4月19日(日)は、会場を出西コミュニティセンターに移しての開催となり、温かい手作りの食事が並び、親子の会話が自然と弾む、心がほぐれるひとときとなりました。これまで、地元の有志の皆さまから野菜やお米などのご支援をいただき、また社会福祉の補助金も活用しながら、地域に根ざした子ども食堂として運営が続けられています。  
食べることは「命をいただく」という考えのもと、自分が食べられる量を取り、残さず感謝していただくこと、持参したお皿を自宅に持ち帰って洗うことなど、食育の取り組みも行われています。また、高校生ボランティアによる絵本の読み聞かせも実施され、出西に笑顔の輪が広がっています。

今号の掲載内容

- 出西に広がる笑顔の輪!.....1
- 令和8年度の運営方針.....2
- 出西地区自治会連合会運営方針.....3
- 防災対策万全に、地区担当職員です.....4
- 出西トピックス、斐川交番NEW FACEほか.....5
- リレーエッセイ、専門部の活動.....6
- 新・出西の歴史探訪.....7
- 活動グループ紹介.....8
- 4コママンガ「ばばあちゃん日記」ほか.....8

告知板

- 大人の社会見学「島根原子力発電所見学」  
6月18日(木)9:00~15:00
- 子育て交流②「美姿勢で輝く私レッスン」  
6月20日(土)10:00~11:30  
会場:出西コミュニティセンター集會室
- 第33回自治会対抗ゲートボール大会  
6月21日(日)8:15集合  
会場:出西ふれあい広場
- 七塔コンサート 2026  
〜フルート、ファゴット、ピアノによるトリオ〜  
7月4日(土)13:00開場 13:30開演  
会場:出西コミュニティセンター集會室

ご寄付御礼  
○香典返し 金一封(届出順)  
出西地区自治会へ R 8,511 現在  
金山基 様(求院1)  
(故人) 陸山 順造 様(氷室1)  
ありがとうございました。

奉仕御礼  
・斐川ライオンズクラブ 様(廃油回収ボックス清掃)  
・西野野球スポーツ少年団 様(除草作業)  
・出西陶芸クラブ 様(除草作業)  
・中島 春正 様(除草剤散布)  
ありがとうございました。

編集後記  
○「出西に広がる笑顔の輪」をテーマに、こどもまんなか食堂の活動の様子を紹介しました。おいしいごはんをみんなで一緒に食べ、参加者同士の笑顔があふれていました。  
○今号では、都合により「出西☆きらり」を休載いたします。  
○今後とも、誌面を充実させるため「出西トピックス」などへの情報をお寄せください。お待ちしております。  
(スタッフ一同)

令和8年度の運営方針

出西地区は世帯数が増え、1,950 世帯を超えてきました。人口も 5,300 人を超えて、新しい住民の方も増えています。  
こうした状況の中、若い世代の皆様が交流できるイベントや、新旧の住民の皆様と一緒に学び、楽しめるような事業を展開していきたいと思っております。  
多くの方の参加をお待ちしております。

『出西ふるさと読本』を生かす  
近年発行しました、『出西ふるさと読本』を、歴史講座や世代間交流に活用し、出西をより深く知っていただけるよう、ふるさと教育を展開していきます。

各世代の交流機会の拡大  
地域の活力は、人々の交流とつながりにより生まれるものであり、子育て世代の交流や高齢者の地域交流、スポーツによる交流など、世代間、Uターン者や外国籍の方等との交流を促し、お互いに支え合い助け合う、健康で笑顔のあふれる出西地区を目指します。

コミセン機能の利用促進  
広域合併で行政が少し遠くなった中で、コミセンは、行政と住民をつなげる総合的なハードとしての利用が求められています。  
コミセンからもさまざまな交流機会拡大に向けたメッセージを発信していますが、住民の皆さんからもコミセンを舞台に多様な情報発信、パフォーマンスが実践されますよう期待しています。また、引き続き、「出西コミュニティセンターだより」を発行し、地域情報を皆様にお届けします。

人権問題への取り組み  
インターネット上の誹謗中傷など、今日的な人権問題などに対応し、一人ひとりの人権が尊重される、心豊かな地域となるよう研修会や勉強会を開催します。

運営委員の交代  
長年、専門部長等として事業展開をリードいただいた吾郷明子さん(中出西4)、団体代表として参加いただいていた青木昭さん(中出西5)、池田寿志さん(JA)、小川恵美さん(西野小)、多々納優さん(下出西1)、西知世さん(下出西3)、山根陽一さん(神立1)が勇退されました。  
勇退されました皆様に、感謝申し上げるとともに、今後のご活躍をお祈りいたします。なお、新しい運営委員の皆様を5ページに掲載しています。よろしくお祈りいたします。

今年度最初の自主企画事業「はじめてのヨガ&カフェ」(4月4日開催)

令和8年度 出西コミュニティセンターの主な事業

青少年部	子育て世代	高齢者部
4月4日 子育て交流①	6月18日 大人の社会見学	年2回 出西歴史講座
6月20日 子育て交流②	10月 花苗販売・花の体験教室	5月8日・12月3日 センターだより発行
7月28日・29日 夏休み学習広場 & 夏の子ども体験教室	11月上旬 花いっぱい運動	11月 西野小学校平和学習
8月22日 子育て交流③	通年 ふれあいサロン	センターだより月例版発行
11月 子育て交流④		ホームページ更新
12月 子どもミニ門松づくり		
1月4日 コミセンで書初めしよう	4月4日 はじめてのヨガ&カフェ(青少年部共催)	
2月 子育て交流⑤	6月21日 自治会対抗ゲートボール大会	
通年 出西子育てサロン	7月 健康まつり	
	10月 ちびっこスポーツコーナー(文化祭)	
	10月 ふれあいゲートボール大会	
	10月 健康ウォーク	
	11月 ニュースポーツにチャレンジ!①	
	2月 ニュースポーツにチャレンジ!②	
	通年 はつらつ体操教室	
7月4日 七塔コンサート		
10月10日・11日 文化祭		
12月上旬 芸能を楽しもう		

新・出西の歴史探訪⑳

「昭和39年山陰豪雨災害」の記憶と教訓

奪われた3家族9人の命  
小学校6年生の時の土砂災害の記憶が今でも鮮明です。昭和39年(1964)7月19日、朝起きると、木戸道から見える三本松山の山腹が崩れ落ちて、赤黒い山肌を見せていました。「山陰豪雨」と称された稀有の大雨で、身近な多くの尊い命が奪われました。  
この年の7月には12、13日に相当量の降雨があったうえに、再び16日から断続的に激しく雨が降りつづいていました。  
18日には午前中に大雨洪水警報が発令。夜になって、時間雨量72mmの雨によって夜半から山崩れが続出し、下出西1(山の奥)自治会では約300人にわたって山津波が襲い、3家族9人が帰らぬ人となられたのです。  
この集中豪雨は、斐川村(当時)にも、新川以南を中心に甚大な被害をもたらしました。出西などの山崩れと莊原新連川沿いの浸水です。昭和30年に合併した斐川村にとって最大の被害となりました。被害額は約12億円に達し、しかも、いかなる金額にも換算できない11人(村全体)の犠牲者まで出た大水害でした。

「昭和39年災害地蔵菩薩」の願い  
三本松山の麓の出西郷を高瀬川沿いに久武神社・栖雲寺方面に向かって歩いていくと、穏やかな笑顔を湛えたお地蔵さんに出会います。昭和39年7月集中豪雨で亡くなられた方々の冥福を祈る地蔵菩薩です。前述の池田さん、多々納さんら9人が発起して、多くの方々の浄財を得て昭和41年7月に建立されました。お地蔵さんは、山津波が起こった南の方に向かって立ち、再びあのような災害が起こらないよう、また亡くなられた方々をお慰めるために祈りながら、永遠に合掌を続けています。

災害事例に学び、地域の安寧を思う  
39年災害の後、山沿いの家々の多くは、新川跡地などに転宅され、それがきっかけとなって、純農村地帯であった出西も急速に宅地化が進み、市内でも数少ない人口増加地域となっています。39年災害は出西の歴史の大きな転換点となったと思います。  
時代は移りましたが、突然の災害に見舞われた中で、一丸となって救助、復旧に当たられ、かつ、懸命にその教訓を後世に伝えようとした自治会の皆さんの姿勢から、私たちが人々と地域の安寧に向けて多くのことを学び取り、次代へ引き継いでいきたいと思っております。

「記録集」が伝えること  
昭和63年発行の自治会記録集「忘れえぬ山の奥集中豪雨災害―昭和39年7月―」は、多くの教訓を私たちに教えてくれます。  
現地の災害対策本部を引き受けられた多々納正治氏(村議会議長・村農協組合長、故人)も、「川筋は危ないが、山手は大丈夫という神話のような安心感を持っていたのに…」と以前から抱いていた先入観への悔恨の念を記されました。  
池田好一郎氏(建設業、故人)は、「山津波が起こった三本松山は、かつて松林が伐採され松根油を採取されていたことがあり、山の保水能力が飽和状態



「忘れえぬ山の奥集中豪雨災害―昭和39年7月―」から転載



昭和39年災害地蔵菩薩

「記録集」が伝えること

【参考文献】「忘れえぬ山の奥集中豪雨災害―昭和39年7月―」(下出西1自治会)、「斐川町史」(斐川町教育委員会)  
【写真提供】長谷川豊氏(文責:高橋孝治)

### 地域の橋渡し役として

私が、地域活動に関わりを持つようになって、かれこれ40年以上経ちました。社会人1年目の年に、職場の先輩から「体協の事務局の手伝いをしてくれないか?」と依頼されたのが、きっかけでした。学校の授業以外では、ほとんど運動に縁のなかった私ですが、「事務局の手伝いくらいなら」と、ほんの軽い気持ちで受けたことを憶えています。

その後、事務局の一員として、また時には体育委員の一人として活動に参加する中であって、時代の変遷とともに、周囲の価値観も多様化していき、スポーツ活動を取り巻く情勢も次第に変化していきました。そうした世の中の流れに対応していこうと、地域の皆さんのご意見を伺いながら、主催大会・種目の見直しや各種団体との連携など活動内容の変更を行い、名称も「スポーツ協会」へと変わりました。

「地区の皆さんの心身の健全な発達と、明るく豊かな町づくりに寄与する」という目的達成に、どこまで貢献できたかはわかりませんが、人付き合いがあまり得意でなかった私にとって、スポーツ協会での活動を通じてさまざまな皆さんと顔見知りになれたことは何よりの財産ではなかったかと思っています。

### 福島 康治 (神立1)

これは、スポーツ協会に限ったことではありません。出西地区にはほかにもいろいろな団体があり、活発に活動しておられます。私自身も地域の消防団や、いわゆる「わかいもん会」などへの参加を通じてさらに地域の人々との交流を深めることができました。また、近年はコミセン活動にも微力ながら参加させていただいており、専門部の活動等を通じて遅ればせながら健康にも気を遣うようになりました。

私自身これから先どれだけのことができるかわかりませんが、これまで先人の方から受けてきたさまざまな恩恵や学びのなかで得てきたものをいかに今後に伝えていくか、これが私に残された役割ではないかと考えています。



R7年6月 自治会対抗ゲートボール大会表彰式の様子 (写真左)

### 専門部の活動に参加してみませんか?

出西コミュニティセンターでは5つの専門部を設置し、事業を実施しています。イベントの参加はもちろんです、専門部の活動に協力していただく部員を募集します。参加してみたい方は、事務局までご連絡ください。(電話72-9204まで)

<b>総務部</b> ・歴史講座 ・広報誌発行 ・HPの作成 など	<b>青少年部</b> ・各種体験教室・学習広場 ・子育て交流会 ・子育てサロン など	<b>文化部</b> ・文化祭 ・コンサート ・文化探訪 など
<b>まちづくり交流部</b> ・環境美化 ・ライフデザイン講座 ・ふれあいサロン など	<b>健康スポーツ部</b> ・健康ウォーク・ゲートボール大会 ・健康まつり ・はつらつ体操教室 ・ニュースポーツにチャレンジ! など	

## 令和8年度の自治協会運営方針

4月18日(土)に令和8年度の自治協会総会が開催され、役員や事業計画、予算などが承認されました。

また、香典返しの寄付金のお願いや、消防後援会の会費の説明があり、代議員(自治会長)からは、自治会脱会者及び未加入者への対応や行政文書の配布等の質問などが寄せられました。

その後、各団体(斐川西中学校、消防後援会、防犯協力会、地区社会福祉協議会、出西コミセン、ゲートボール協会)より説明やお願いがありました。



### 自治会の加入促進

出西地区は新川中央線沿いなどで宅地開発が盛んに行われており、人口は5,300人を超えました。世帯数も3月末で1,952世帯となり、今後ますます人口が増加すると予想されます。

一方、自治会加入率は新規加入者が増えない中、

脱退が相次ぎ3月末で48.9%となりました。

自治会は、地域の相互扶助の基礎単位となり、行政サービス等を等しく皆さんにお届けするうえで極めて重要な組織です。

また、防災や防犯などの助け合いの組織でもあります。

昨年、一昨年と、新しい住宅団地の各家庭を訪問して、自治会設立に向けた意向調査を行いました。本年度は自治会設立に向けた説明会を開催する予定です。

### 自治会の防災対策

今年は1月6日に島根県で震度5強の地震が発生し、出雲市でも震度4を記録し怖い思いをされた方もあったと思います。

その後も各地で地震が頻発しています。また、豪雨による水害も近年増加し、いつどこで災害が発生するかわからない状況です。

こうした災害時に重要となるのは地元の協力的体制と行動力です。

まもなく梅雨入りを迎えますが、避難経路や避難場所を今一度確認し、避難指示が出たらすぐに避難所への避難をお願いします。

また、高齢で自治会を脱退された方が近年増えていますが、高齢者の方には情報が届かない場合も想定されます。

災害時には、ご自身の安全を確保したうえで、ご近所への声かけをお願いします。

### 令和8年度 出西地区自治協会の主な事業

- 7~11月 自治会未加入世帯へ自治会加入勧誘活動
- 9月19日 敬老の日赤飯配布等(地区協との共催)
- 10月10日、11日 出西地区文化祭(運営協力)
- 高齢者集いの会(敬老会)
- 第9回出西軽トラ市

- 1月 出西地区新年賀会
- 1月20日 出西地区自治会長会
- 2~3月 香典返し寄付金配分申込受付・決定



出西軽トラ市 '25 (令和7年10月)



出西地区敬老会 (令和7年10月)

## 防炎対策万全に!

令和8年5月下旬より 気象の警報などが大きく変わります

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

- 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます
- 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります(特別警報の新設など)
- 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

### 地域で、家族で話し合いを!

間もなく梅雨期に入ります。皆さんのお手元にあるハザードマップを参考に地域で、家庭で災害への備えについて確認し合い、万が一の場合に備えましょう。自治会単位で防災研修(避難訓練等)を企画される場合には、地区災害対策委員会(事務局:出西コミュニティセンター☎72-9204)へお気軽にご相談ください。

### 避難所としてのコミュニティセンターの活用

各自治会では一時避難所を決めていただき、地域単位での避難行動を確認いただいておりますが、土砂災害等の恐れがある場合には、早い段階でコミュニティセンターが、高齢者等避難所あるいは市指定避難所として開設されます。防災無線等の情報に留意し、別図に準拠して早めの避難をお願いします。

### 気象庁松江地方気象台のホームページから転載



詳しくはこちら

### 避難行動要支援者の個別避難計画を策定

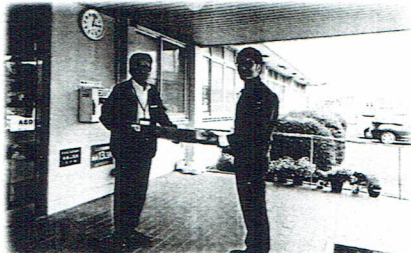
高齢や障がいなどによって災害時に1人で避難することが難しい方の具体的な避難方法等を個別に策定し、万が一の場合に備えます。自治会単位で、民生委員、防災委員、自治会長と相談し作業を行いますので、情報提供、計画策定にご協力をお願いいたします。

### 出西地区の災害対応を担当する地区担当職員です



1年ぶりに地区担当職員に戻ってきました。小学校から高校卒業まで、また大学卒業後現在に至るまでこちらで暮らしています。選挙の際も、出西コミュニティセンターで従事することが多いです。よろしくお願ひします。

### NOSAI島根様から、防災用ワンタッチテント等を寄贈いただきました



災害時において、避難所での利用が可能であり、地域の安全・安心を確保するため有益に活用してまいります。ありがとうございました。

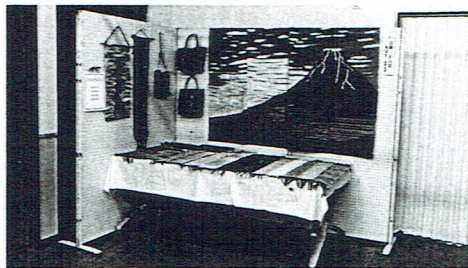
### 出西トピックス

#### ものを大切に作る心から生まれた、さき織の世界へようこそ

出西さき織クラブ(保科幸子代表、ほか3名)の作品展が、このほど出雲市天神町の今岡美術館で開催されました(4月18日から5月17日まで)。さき織は、役目を終えた布を細く裂き、もう一度いのちを吹き込む手仕事です。手間を惜みず向き合うことで、同じものが二つとない温もりが生まれるのだそうです。

布の幅や色の重なりが独特の表情をつくり、バッグや敷物、風景を描く作品まで多彩に広がりと表情豊かなものが生まれます。この作品展では、ものを大切に作る心から生まれた、さき織の作品をたくさん見ることができました。

2001年に斐川環境学習センターに発足した、出西さき織クラブは、現在は斐川環境学習センターに工房を構えておられます。昔ながらの織機を使って、各自が自由にデザインしたり、共同の作品づくりに励んだり、初心者への体験教室を毎月開催されています。体験教室については、広報いづもや出西コミュニティセンターだより月例版に掲載、または斐川環境学習センターへお問い合わせください。



出西さき織クラブの作品展 (R7年10月出西地区文化祭)

#### アース館の屋根・外壁改修工事が終わる

斐川環境学習センター(通称:アース館)の屋根の修復等が2月に終わりました。

鬼瓦、棟石が新しくなり、外壁塗装も行われました。また、降ろされた鬼瓦、棟石の一部を庭の一角に展示されています。庭先で見ると意外と大きいものです。地域の皆さんどなたでもご覧いただけるようです。



屋根の修復等が終わった斐川環境学習センター

#### 住民の皆さんの安心・安全を守ります! 斐川交番 New Face

求院・併川地区の担当となりました松原大空(まつばら たく)です。事件・事故を未然に防げるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

このたび、花田潤紀所長が就任されました。深谷慧巡查長(出西・神水担当)も、新たに担当されます。

氏名	所属団体
青木 保	出西地区青島クラブ連合会会長
井上裕史	西野小学校校長
岡田雄雄	町商工会出西支部長
小村香雄	出西地区社会福祉協議会会長
陰山幸幸	環境保全連合会出西支部会長
川内章正	出西地区自治協会会長
神門保雄	有識者
神門洋子	センターまちづくり交流部長
児玉 明	JASまほろ斐川地区本部伊波野支店兼出西支店支店長
高橋真一	センター文化部長
竹下 勇	出西地区交通安全対策協議会会長
玉木 一好	出西地区青少年・同和協議会会長
津戸園枝	出西地区民生委員児童委員協議会会長
坪倉良治	多目的広場管理委員会会長
西 郁都	センター総務部長
西尾慎也	出西地区自治協会会長
万代丸美	センター青少年部長
植野淑美	更生保護女性会出西支部長
福島康治	出西地区健康スポーツ協会会長
保科幸充	出雲市議会議員
間賀部 有識者	有識者
山田博子	有識者

令和8年度 出西コミュニティセンター 運営委員会委員(任期R8.4~R10.3)

◎ 会長 ○ 副会長 新任(敬称略)